



加藤将司

Field of (Dis)assemblage 12-1
2019年
50×60×2.5cm
水彩、珊瑚、純金箔と紙

ト コ
ロ マ

「所」と「床の間」にまつわる観念がリンクしたタイトル「ところま」は、人間の居場所を複眼的に見立てる試みを示唆。本展では、石と場所まつわるエピソードからの着想をもとに、動かざるものを動かし、消滅するものを留め、慣習的に折り合わざった死の形を解きながら、天然と技巧の狭間で揺れる画と素材を配置。さらに森からの光景と風を取り込み、想起されうる新しい意味合いやイメージを繋げながら「未見の景色」と向き合う現代美術展です。



会場 金津創作の森美術館 アートコア ミュージアム-2
 日時 2019年11月2日[土]～11月24日[日]
 休館日 月曜（祝日の場合は翌平日閉館）
 開館 10時～17時（最終入場16時30分）
 入場 無料

対談 武藤夕佳里 × 加藤将司

むとうゆかり・並河靖之七宝記念館 主任学芸員・
 植彌加藤造園株式会社庭園研究開発室 研究員・
 京都造形芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター 客員研究員

【オープニング/対談】

会場 金津創作の森美術館 アートコア ミュージアム-2
 日時 11月9日[土] 13時～14時30分
 入場 無料

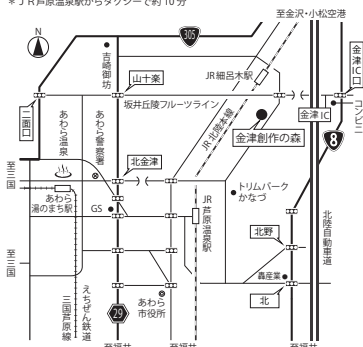


加藤将司（かとうしょうじ）

福井市出身。1991年に米国移住。2000年にニューヨーク州立大学パーチェス校卒業。2005年からはヘルシンキ在住。2007年にフィンランド美術学院で修士、2015年には論文「幾何学の場所」で博士課程修了。美術作家。美術作品では、平面/画像/立体/状況などの多様な表現手法をもちいて、「主体性の場所」や、その実在を支えているものたちとの関わり具合や、間合いなどを「作られた空間」から考察している。平成20年文化庁芸術家在外研修員。海外での受賞歴と収蔵作品がある。

www.shoji-kato.com

*北陸自動車道金津ICから車で約5分
 *JR芦原温泉駅からタクシーで約10分



主催 加藤将司

助成 フィンランド文化財団



後援 (公財)金津創作の森財団、(公財)福井県文化振興事業団、
 福井新聞社、FBC、福井テレビ、月刊URALA編集室

所在地 金津創作の森美術館 アートコア ミュージアム-2
 〒919-0806 福井県あわら市宮谷57-2-19
 TEL 0776-73-7800 <http://sosaku.jp/>